

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

②施設・事業所情報

名称：綱島こども園	種別：認可保育所	
代表者氏名：園長 清水翔太	定員（利用人数）：60（67）名	
所在地：横浜市港北区綱島西六丁目23番56号		
TEL：045-547-6655	ホームページ： http://www.kodomonomori.co.jp/tu/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2019年10月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社こどもの森		
職員数	常勤職員：13名	非常勤職員2名
専門職員	（看護師）0名	
	（保育士）12名	
	（栄養士）1名	
施設・設備の概要	（居室数）	
	（設備等）	
	保育室 厨房 事務室 更衣・休憩室 ユニバーサルトイレ、バリアフリーの床、手洗い場	空調設備、厨房設備、沐浴設備 全室床暖房、室内大型遊具2台

③ 理念・基本方針

- ・質の良い保育の実施
- ・使いやすい保育サービスの提供
- ・子育て家庭をサポートする
- ・子どもの十全なる発達と保育
- ・自分の子どもを入れたい園にする

② 施設・事業所の特徴的な取組

園は、最寄り駅から歩いて約9分、私鉄の高架下にあります。建物面積345㎡、木造平屋建て、室内は騒音もなく快適な空間になっています。家庭的であたたかな環境の中で、子どもの人格を尊重し、愛され認められる幸せを感じられるよう、そして、いろいろな人とのかかわりを通して互いを思いやる優しい心を育むことを目標にしています。子育て家庭の負担を減らし、保護者と子どもの時間を大切にもらえる運営を心がけています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年8月13日（契約日）～2021年 月 日 （評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（年度）

⑥総評

◇得に評価の高い点

- ・「保育目標」を自然に身につけて卒園を迎えます

保育目標に、「明るく元気な子、挨拶のできる子、愛と思いやりのある子、感謝の心を持てる子」を挙げています。各クラス担任は4つの目標の1つを1年間の重点目標に掲げ、クラスの子どもたちを実現するよう保育を行っています。年度末に子どもの成長を評価し、次年度に新たな保育目標を目指し取り組んでいます。保育園生活の終了時には4つの保育目標の内容を身に付け、成長した姿で卒園を迎えます。2021年3月、初めて卒園児を送り出す予定です。

- ・リスク管理体制の構築に取り組んでいます

人為的なミスをなくし、寝ている子どもたちを守るため、0歳児には視診・触診に加え、体動センサーを導入しています。子どもの安全を守るため、職員は救急救命講習を受けています。毎月の避難訓練のほか、豪雨等の災害に備える訓練、不審者対応訓練を実施しています。感染症や事故等の対応マニュアルを整備しています。夏はプール等における注意事項等をグループ園で共有しています。緊急時の対応にメール配信連絡網を利用しています。災害時万一連絡が取れない場合でも建物が倒壊する恐れがない場合は基本的に園内に留まるとしています。

◇改善を求められる点

- ・年少児の他の保育園の子どもや外の世界の事象に触れることが期待されます

運営規程や中・長期計画において、地域との関係として、子どもを保育することと同時に、地域の様々な社会資源との連携を図りながら、地域の子育て家庭に対する支援を行うことを取り上げています。開園して3年目を迎え、卒園児を送り出す初めての年度になりました。地域交流として5歳児は他の保育園との交流を進めています。ところが、これまで4歳以下の子どもは他の保育園の子どもと交流していません。交流を通して、友だちや仲間、人と人とのかかわりを広げ、外の世界の事象への関心を深める観点から、年少の時から交流の機会を持つことが望ましいのではないかと検討が期待されます。

- ・外部の人に相談できることを保護者に周知し認知されることが期待されます

苦情解決規定に基づいて、苦情解決責任者及び担当者を指名し、第三者委員を委嘱し、苦情解決制度フローチャートを掲示しています。また、本部事務局に保護者がいつでも投函できるよう「ご意見ハガキ」を2通ずつ配布しています。今回の第三者評価における利用者調査の結果は、「あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えられたか」という質問に「はい」と回答した人は回答者の3分1弱にとどまりました。今後、入園時や懇談会等で苦情解決の仕組みと併せて、第三者委員の存在などの認知度をさら高めることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園してまだまだ試行錯誤を繰り返していますが、子ども達の成長とともに着実に成果が出てきていると思います。今後も継続して園の「保育目標」を通して子ども達の成長を見守り、職員全員で保育を進めて参ります。

リスク管理体制は、子ども達の安全を第一に優先してマニュアルの整備や訓練、研修などを日々行っております。「いつ」「どこで」発生しても落ち着いて避難誘導や対応ができるように今後も研鑽に励んでいきます。

近隣園とは、次年度以降の年長交流や小学校交流を通して、視野を広げて新たな保育の視点となるように進めていきます。今後の情勢次第にはなりますが、年長児以外でも交流が出来るように近隣園に働きかけをしながら、機会を作っていきます。

ご意見ご要望等では、今後も行事や面談等、日々の送迎時にもコミュニケーションを図り、安心して保育園に通ってもらえる体制をより一層作っていきます。新型コロナウイルス感染症が発生して周囲の環境が変化していますが、今後も感染対策をしっかりと行って運営をして参ります。

- ⑧第三者評価結果
別紙2のとおり